

※2024年6月改訂（第9版）
※2022年2月改訂（第8版）

届出番号:13B1X00072001077

機械器具 29 電気手術器
一般医療機器 電気手術器用ケーブル及びスイッチ 70657000

ERBE 電気手術器用ケーブル モノポーラケーブル

【禁忌・禁止】

- 可燃性麻酔剤、可燃性ガス、可燃性の液体や物質（アルコール系の消毒剤やチンキ類、乾燥したガーゼ）などが存在する所及び酸素や亜酸化窒素などの可燃性ガスの濃度が高くなっている所では使用しないこと。[引火・爆発による火災の発生や、患者及び手術スタッフに重大な損傷を与える可能性があるため。]

【形状・構造及び原理等】

最大許容高周波電圧は5000Vpである。



20192-111	モノポーラケーブル 吸引凝固電極用
20192-113	モノポーラケーブル MIS モノポーラ用
20192-117	モノポーラケーブル オリンパス用
20192-122	モノポーラケーブル モノポーラ鑷子用



20192-110	モノポーラケーブル MIS モノポーラ 2 ボタンハンドスイッチ用
20192-133	モノポーラケーブル 3 ピン MIS モノポーラ用
20192-135	モノポーラケーブル 3 ピン オリンパス用

●原理

使用する電気手術器から電気手術器用アクセサリに電源を供給する。(両コネクタ間の抵抗は1Ω以下)

【使用目的又は効果】

手術用電気機器として使用される医療機器と、これらに接続し制御する装置との間にて信号等を伝達し、電源を供給し、これにより両者の接続を延長するために用いられるケーブルである。

※※【使用方法等】

●組み合わせて使用する医療機器

接続可能な電気手術器は以下の通りである。

販売名	承認／認証番号
エルベ VIO3/APC3 高周波手術装置	23000BZX00353000
エルベ VIO3/APC3	228AFBZX00114000
エルベ VIO300D/APC2 アルゴン機能付	22000BZX00148000
エルベ VIO-S/APC2 アルゴン機能付	22300BZX00478000
高周波手術装置 VIO200D/APC2	22100BZX01099000
高周波手術装置 VIO300D	221AIBZX00021000
高周波手術装置 VIO300S	219AIBZX00043000
高周波手術装置 VIO200S	220AIBZX00083000

製造販売業者：株式会社アムコ

●使用方法

- 【保守・点検に係る事項】を参照し、本品を使用する前に洗浄・消毒・滅菌を施す。
- 【保守・点検に係る事項】の「使用前点検」を参照し、本品に異常が

ないことを確認する。

- これ以降の操作は併用する電気手術器及び電気手術器用アクセサリの操作に準じて行う。
- 使用後は、ケーブルを電気手術器、電気手術器用アクセサリから取り外す。このとき、ケーブルの絶縁被覆を傷つけないよう注意すること。

※【使用上の注意】

●重要な基本的注意

- 本品は劣化により導線の導電率が落ち抵抗が増すため、装置に負荷がかかる。またその場合、装置がより高電圧で出力することによって放電が発生すると、患者への神経・筋刺激の誘発、ケーブルの発火、患者の熱傷等のおそれがあるため、使用点検を怠らないこと。
- 使用する前に、本品の電気手術器、電気手術器用アクセサリへの接続が正確でかつ完全であることを確認すること。[不完全な接続により、装置の動作不良や患者への神経・筋刺激が誘発される可能性があるため。]
- 使用中は、本品に触れたり、本品を患者の上に置いたりしないこと。[熱傷及び電気ショックのおそれがあるため。]
- 本品、その他の併用機器及び患者に異常が無いことを常に監視し、異常が認められた際には患者に安全な状態で適切な処置を講ずること。
- 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

●保管方法

- 高温、多湿、直射日光および水濡れを避け、風通しの良い清潔な場所に保管すること。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- 滅菌済みのものを貯蔵・保管する際は、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、施設設定の有効保管期間の管理をすること。

※●耐用期間

- 【保守・点検に係る事項】の＜使用前点検＞の項目を参照し、劣化状態等を見極め、劣化、破損等が見られた時は交換すること。

※【保守・点検に係る事項】

使用者は、適切な方法によって実際の手順が適当かどうかを確認しておかなければならない。(例：バリデーション、日常管理、素材適合性の確認)

●洗浄・消毒

- 使用後は直ちに製品を洗浄、消毒及び滅菌すること。
- 用手洗浄を実施した上で器械洗浄および消毒を実施することを推奨する。
- 本品は超音波洗浄に対応している。
- 洗浄の際には鋭利なものを使用しないこと。
- 洗浄剤と消毒剤はプラスチック製及び金属製の医療機器に適合するもので、かつ pH5.5～12.3 のものを使用すること。
- 洗浄剤と消毒剤は製造元の指示に従い使用すること。
- 使用した洗浄剤は十分に洗い流すこと。
- 本製品は最大 95℃までの温度で機械洗浄・消毒が可能である。

＜前洗浄手順＞

前洗浄には水を使用し、必要な際には適当な洗浄剤を使用すること。

- 流水を用いて製品をすすぐ。
- 柔らかい布を用いて、表面に付着した汚れを落とす。

＜用手洗浄・消毒手順＞

- ・ 洗浄槽に適合した洗浄剤を使用すること。
- ・ 洗浄槽に使用した洗浄剤に適合した消毒剤を使用すること。
- ・ 器具が清潔である程度乾燥した状態で消毒すること。

洗浄

1. 洗浄槽の製造元の指示に従い、洗浄槽を準備する。
2. 器具の表面が全て洗浄剤に浸かるように洗浄槽の中に配置する。
器具の配置の際には、他の器具と重なったり触れ合ったりしないように注意する。
3. 洗浄剤の製造元の推奨する浸漬時間に従って、器具を浸漬する。
4. 必要に応じて、付着した汚れを柔らかい布で落とす。
5. 器具を注意深く洗浄槽から取り出す。
6. 器具を精製水で少なくとも1分間以上すすぐ。
7. 目視できる汚れが残っていたら手順1.から繰り返す。

消毒

8. 消毒槽の製造元の指示に従い、消毒槽を準備する。
9. 器具の表面が全て消毒剤に浸かるように消毒槽の中に配置する。
器具の配置の際には、他の器具と重なったり触れ合ったりしないように注意する。
10. 消毒剤の製造元の推奨する浸漬時間に従って、器具を浸漬する。
11. 器具を注意深く洗浄槽から取り出す。
12. 器具を精製水で少なくとも1分間以上すすぐ。
13. 圧縮空気で乾燥させる。

＜機械洗浄・消毒手順＞

- ・ 高アルカリ性の洗浄剤を使用した場合、金属表面が変色することがあるが、製品の品質には影響がない。

1. 器具を緩く広げ、適切な洗浄バスケットに配置する。その際他の器具に触れないように注意する。
2. 以下の条件にて検証済みのプログラムを選択し、開始する。
 - －高温消毒（90～95℃で5～10分）
 - －精製水での最終すすぎ
 - －十分な製品の乾燥

●点検

以下のような破損や磨耗がないことを目視にて確認する。

- －ひび割れ、ざらつき、剥がれ、変色などの表面の磨耗や亀裂などの製品の損傷。
- －本品及びケーブル、コネクタ部の絶縁被覆の破損、亀裂、破れ、剥がれ、削れ、磨耗（薄くなる）など。

●包装

ディスプレイの滅菌パック（一重又は二重）に包装するか、滅菌用コンテナに収納する。

●滅菌

- ・ 必ず洗浄・消毒した製品を滅菌すること。
- ・ 製品は138℃を超える温度に曝さないこと。
- ・ 乾熱滅菌はしないこと。
- ・ 下記条件における高圧蒸気滅菌を推奨する。他の滅菌方法を用いた場合には品質を保証しない。

推奨滅菌条件

プレバキューム式

- ・ 滅菌温度：132℃～138℃
- ・ 滅菌時間：3～18分

滅菌器内への収納、取扱い及び乾燥時間については滅菌器の製造元の推奨に従うこと。

●使用前点検

1. 製品の各部に破損や亀裂、劣化や摩耗（薄くなったり、削れたり、擦れたりした状態）、その他の変形がないことを確認する。
2. 電気手術器の電源が OFF であることを確認し、本品を電気手術器に接続する。さらに、本品にモノポーラアクセサリも接続し、接続が確実であることを確認する。確認後、電気手術器の電源を ON にする。
3. 導通テスターを用いて導通試験を実施することを推奨する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

●製造販売業者

株式会社アムコ

TEL：03-3265-4261

●外国製造業者

業者名：エルベ社（ERBE Elektromedizin GmbH）

国名：ドイツ